



# 野村世界6資産分散投信

安定コース

分配コース

成長コース

配分変更コース

ポイント

1. 今、市場で起きていること ～リスク・オフの流れに～
2. 調整局面における『分散投資』の重要性
3. 長期的な視点とファンドの過去の実績

## 値動きの大きなマーケットのなかで考える

### ～『野村世界6資産分散投信』～

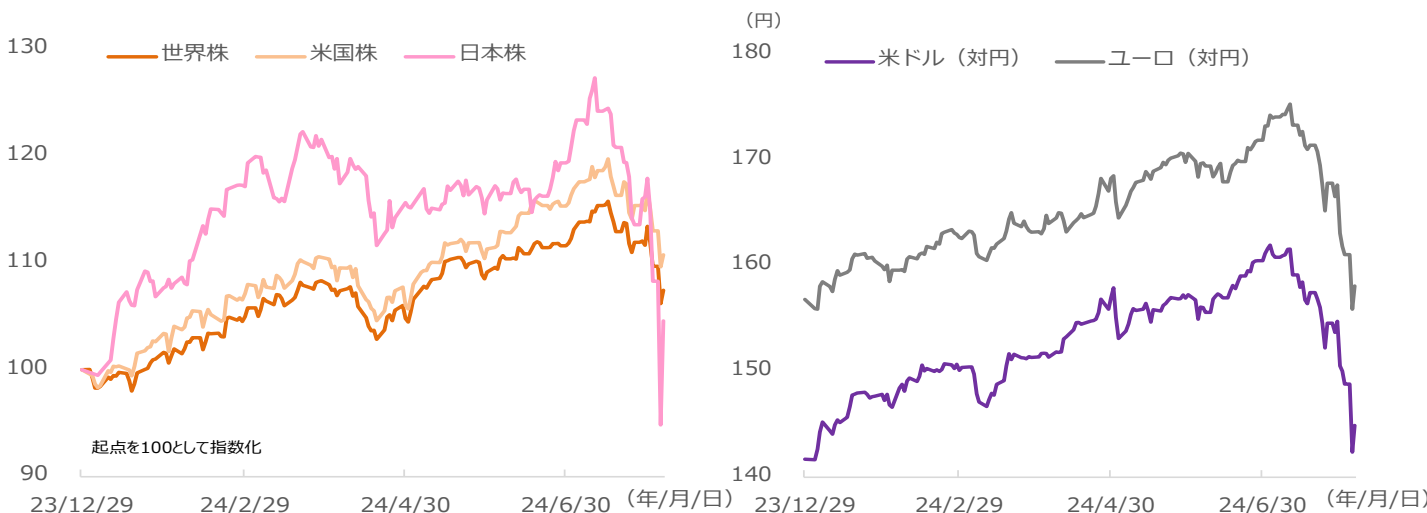
#### 1. 今、市場で起きていること ～リスク・オフの流れに～

##### 金融市場の動揺

2024年7月中旬以降、世界的に株式市場は大きな下落に転じています。背景には、米国の景気落ち込みへの警戒感から米国の株式市場が大幅に下落したことなどが挙げられます。8月5日には日経平均株価が急落し、下落幅は米国株式市場の急落が世界に飛び火したブラックマンデー翌日の1987年10月20日の3,836円安を超えて、過去最大の4,451円安となりました。そして、8月6日には3,217円という史上最大の上げ幅で反発するなど、激しい値動きとなりました。

為替市場においては、米国での利下げ観測が強まった影響で7か月ぶりに1米ドル142円台の水準となりました。日銀が利上げのスタンスを明確にする一方、FRB（米連邦準備制度理事会）が早いペースで利下げをするとの観測が強まったことで、先行き日米の金利差が急速に縮小する可能性が高まり、一気に円安から円高の流れとなりました。

2024年初来の主要株式市場と為替レートの推移



期間：2023年12月29日～2024年8月6日、日次。世界株：MSCI ACワールド・インデックス（米ドルベース）、米国株：S&P500株価指数（米ドルベース）、日本株：日経平均株価（円ベース）、全て配当込み

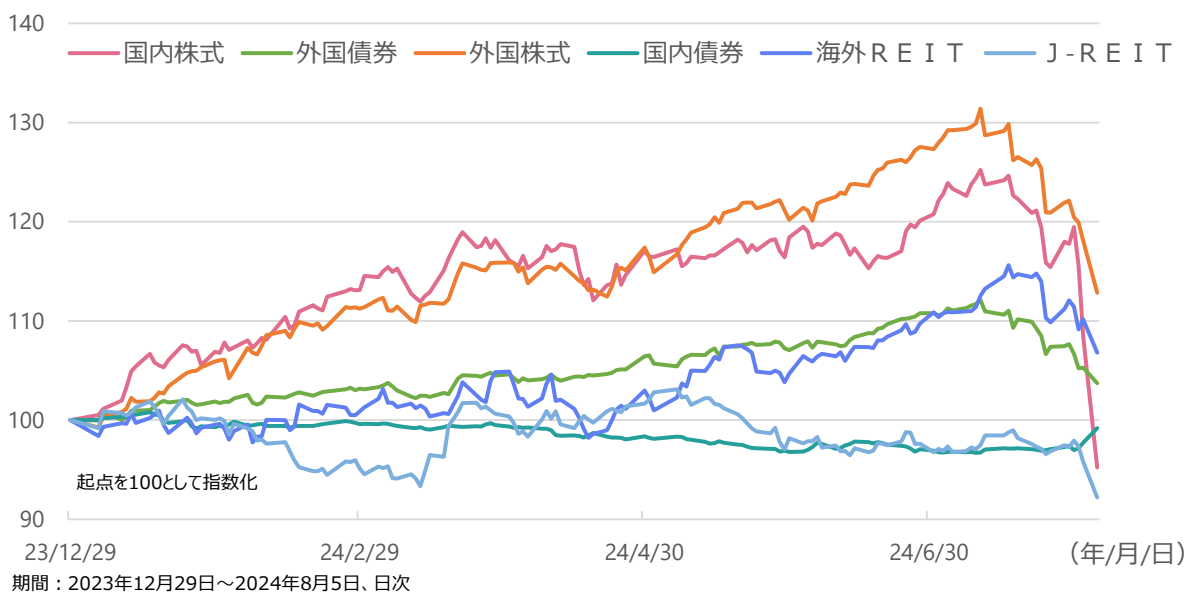
上記は過去のデータであり、将来の投資成果を示唆あるいは保証するものではありません。

## 2. 調整局面における「分散投資」の重要性

### 分散投資の重要性

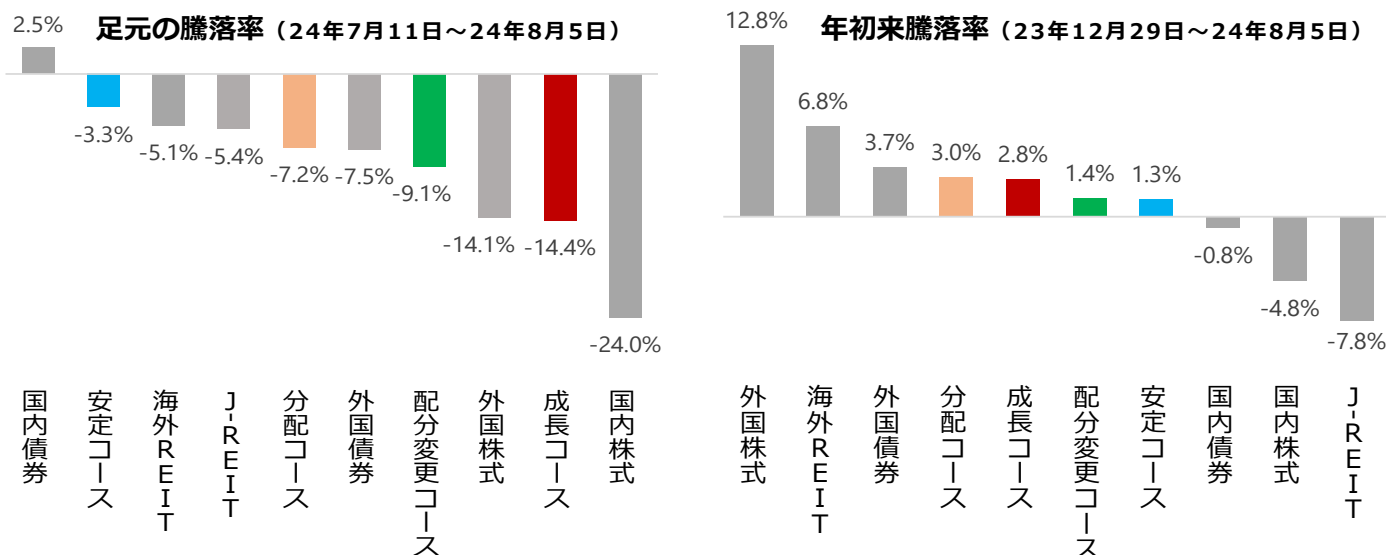
年初からの各資産の推移をみると、株式が高値から大きく下落した一方、債券は相対的に安定した推移となりました。市場変動が大きい時や将来の見通しが立てづらい環境下においては、リスク低減効果が期待できる国際分散投資が有効です。値動きの異なる資産を組み合わせる分散投資の特徴として、大きく負けにくいことが挙げられます。「負けにくい運用を目指し、負けたとしても大きく負けない」という分散投資の考え方が値動きの大きな局面や中長期投資を行なう上で重要になります。

年初来の各資産の推移



国際分散投資で運用する「野村世界6資産分散投信」の騰落率は、日経平均株価が高値を付けた7月11日から8月5日では、4ファンドの中で最もリスク性資産を多めに保有する成長コースが14.4%下落した一方、最もリスク性資産の少ない安定コースは3.3%の下落に留まっています。いずれのファンドも資産を分散して保有していたことで、単一資産の保有に比べて下落幅を抑えられていることがお分かり頂けます。

各資産と野村世界6資産分散投信の騰落率

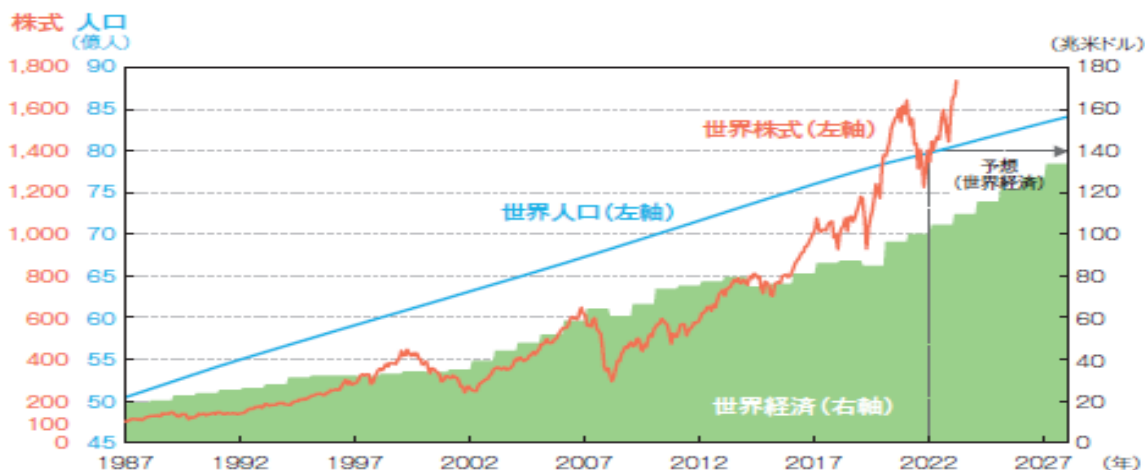


野村世界6資産分散投信の各ファンド基準価額（分配金再投資）を基に算出。各資産は、ファンドが組み入れているマザーファンド（国内株式マザーファンド、外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド、国内債券NOMURA-BPI総合マザーファンド、外国債券マザーファンド、海外REITインデックスマザーファンド、J-REITインデックスマザーファンド）の基準価額を基に算出。基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

### 3. 長期的な視点とファンドの過去の実績

世界経済は2001年のITバブル崩壊や2008年のリーマンショックなど、数々の危機を乗り越えて成長を続けてきたと共に、世界株式も上昇してきました。短期的な先行き不透明感の高まりによる下落局面もあったものの、長期的な視点で振り返ると、投資機会と捉えられることも多くありました。

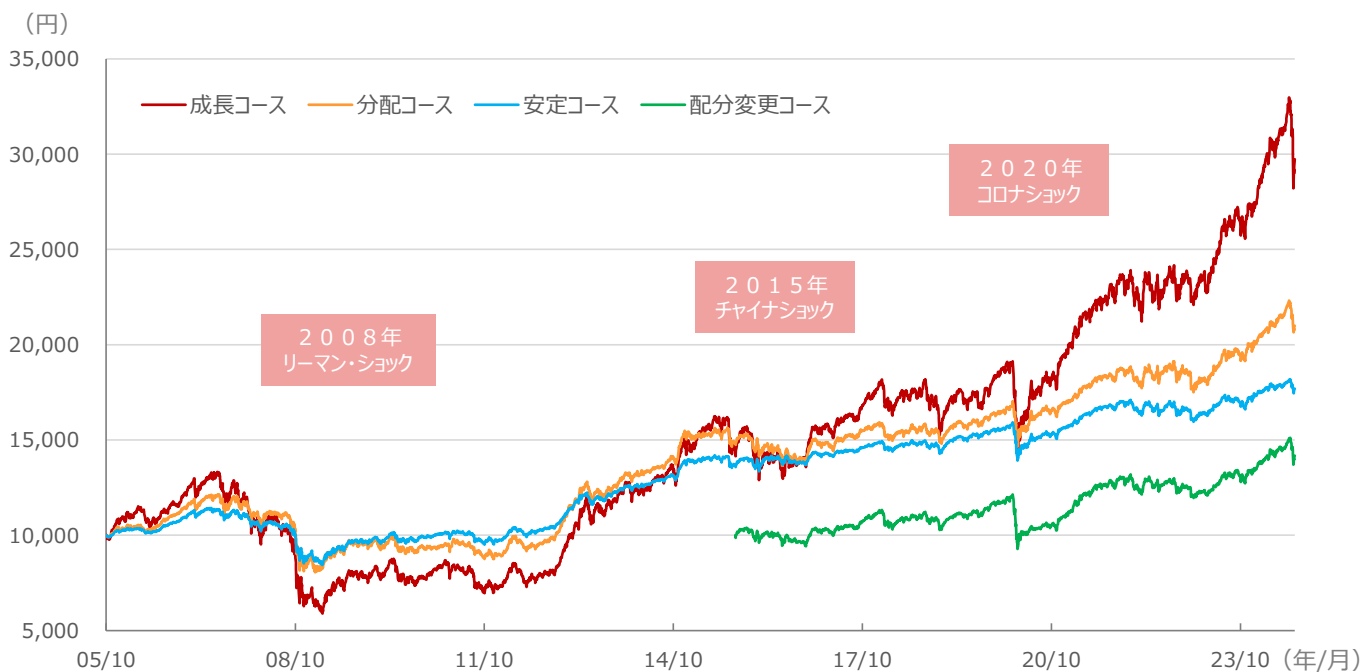
世界の経済規模と、世界株式市場の推移



期間：世界株式 1987年12月末～2024年2月末、月次、世界経済・世界人口 1987年～2028年、年次。世界人口：国連推計。世界経済：世界の名目GDP (2023年以降はIMFの予想値、2022年以前は一部推定値を含む場合があります。) 世界株式：MSCI ACワールド・インデックス (米ドルベース) (出所) 国連、IMFなどのデータを基に野村アセットマネジメント作成

『野村世界6資産分散投信』は代表的な資産（国内外の債券、株式、リート）を組み合わせることで安定的なリターン獲得を狙うことが期待され、これまでも様々なマーケットイベントを乗り越えてきた実績があります。今後の「野村世界6資産分散投信」に是非ご期待ください。

ファンドの基準価額（分配金再投資）の推移

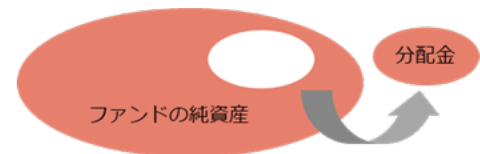


期間：2005年10月3日（設定日）※～2024年8月13日、日次 ※配分変更コースは2015年9月28日（設定日）

基準価額（分配金再投資）とは、当初設定時より課税前分配金を再投資したものと計算した価額であり、ファンドの収益率を測るためのものです。したがって、課税条件等によって受益者ごとに収益率は異なります。また、換金時の費用・税金等は考慮していません。上記は過去の運用実績であり、将来の運用成果を示唆あるいは保証するものではありません。

分配金に関する留意点

●分配金は、預貯金の利息とは異なりファンドの純資産から支払われますので、分配金支払い後の純資産はその相当額が減少することとなり、基準価額が下落する要因となります。



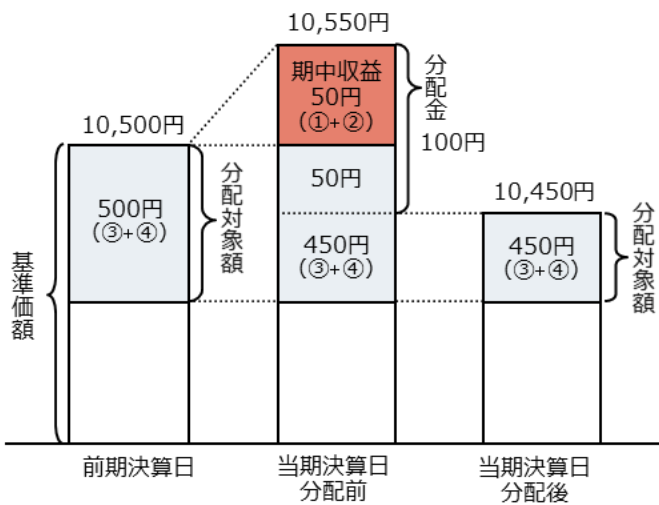
●ファンドは、計算期間中に発生した運用収益（経費控除後の配当等収益および評価益を含む売買益）を超えて分配を行なう場合があります。したがって、ファンドの分配金の水準は必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示唆するものではありません。

・計算期間中に運用収益があった場合においても、当該運用収益を超えて分配を行なった場合、当期決算日の基準価額は前期決算日の基準価額と比べて下落することになります。

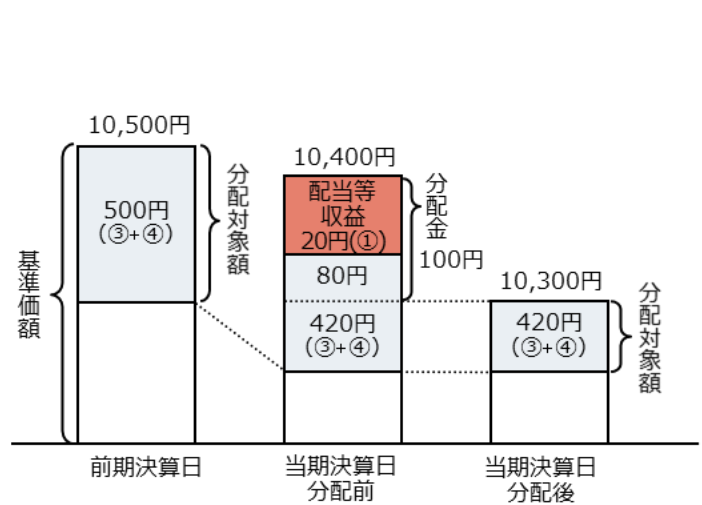
※分配金は、分配方針に基づき、分配対象額から支払われます。

分配対象額とは、①経費控除後の配当等収益②経費控除後の評価益を含む売買益③分配準備積立金④収益調整金です。

前期決算から基準価額が上昇した場合



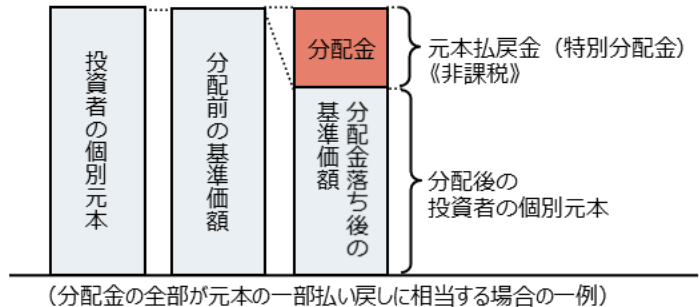
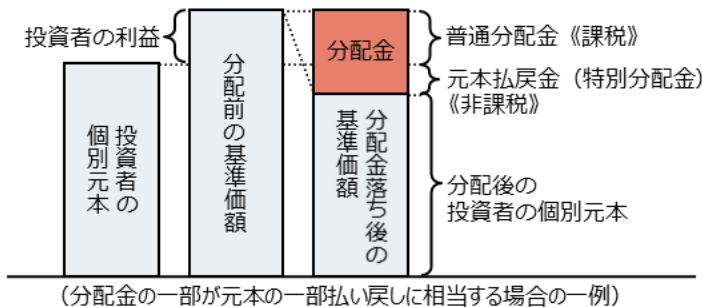
前期決算から基準価額が下落した場合



●投資者の個別元本（追加型投資信託を保有する投資者毎の取得元本）の状況によっては、分配金額の一部または全部が、実質的に元本の一部払戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。

普通分配金	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本と同額の場合または投資者の個別元本を上回っている場合には分配金の全額が普通分配金となります。 (普通分配金に対する課税については、投資信託説明書(交付目論見書)の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。)
元本払戻金(特別分配金)	分配金落ち後の基準価額が投資者の個別元本を下回っている場合には、下回る部分の分配金の額が元本払戻金(特別分配金)となります。

◆投資者が元本払戻金(特別分配金)を受け取った場合、分配金発生時にその個別元本から元本払戻金(特別分配金)を控除した額が、その後の投資者の個別元本となります。



分配金に関する留意点に記載の図はイメージ図であり、全ての状況について説明したものではありません。また、実際の分配金額や基準価額について示唆、保証するものではありません。

## 【ファンドの特色】

## ● 国内および外国の「債券」「株式」「リート」に分散投資を行います

## ◆ 国内外の6つの資産にバランス良く分散投資を行います

＜安定コース＞ ＜分配コース＞ ＜成長コース＞

■組入資産の動きを表す代表的な6つの指数(インデックス)を基本投資割合で合成した指数に連動する投資成果を目指します。

■国内外の資産にバランス良く投資することで、通貨分散効果が期待できます。

\* 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

## ◆ 投資環境に応じて、資産配分を機動的に変化させます

\* 原則として、6つの資産すべてに投資を行います。

＜配分変更コース＞

■資産配分の変更は、各投資対象の「利回り÷リスク」の大きさに基づく「利回り戦略」をベースに、「トレンド戦略」を行うことでリスクを抑えつつ高いリターンを目指した運用を行います。

■実質的な株式・リートの組入上限は信託財産の純資産総額の80%程度とします。

\* 実質組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

● ＜安定コース＞＜分配コース＞＜成長コース＞は原則年6回、  
＜配分変更コース＞は原則年2回の決算時に分配を行います

＜安定コース＞ ＜分配コース＞ ＜成長コース＞

■原則として、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の10日(休業日の場合は翌営業日)に、債券の利子や株式・リートの配当金などを中心に分配を行います。

なお、基準価額の水準により、値上がり益からも分配することがあります。

＜配分変更コース＞

■原則として、毎年1月および7月の10日(休業日の場合は翌営業日)に、分配対象額の範囲内で、基準価額水準等を勘案して分配を行います。

(注)分配金は、投資信託説明書(交付目論見書)記載の「分配の方針」に基づいて委託会社が決定しますが、委託会社の判断により分配を行わない場合もあります。また、将来の分配金の支払いおよびその金額について示唆、保証するものではありません。

資金動向、市況動向等によっては上記のような運用ができない場合があります。

## 「野村世界6資産分散投信」

## 各マザーファンドの対象指数

「国内債券NOMURA-BPI総合 マザーファンド」：NOMURA-BPI 総合

「国内株式マザーファンド」：東証株価指数（TOPIX）（配当込み）

「J-REITインデックス マザーファンド」：東証REIT指数（配当込み）

「外国債券マザーファンド」：FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）

「外国株式MSCI-KOKUSAIマザーファンド」：MSCI-KOKUSAI指数（円ベース・為替ヘッジなし）

・MSCI-KOKUSAI指数をもとに、委託会社が円換算したものです。

「海外REITインデックス マザーファンド」：S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、円換算ベース）

・S&P先進国REIT指数（除く日本、配当込み、ドルベース）をもとに、委託会社が円換算したものです。

NOMURA-BPI総合の知的財産権とその他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属しています。また、同社は当該指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。

FTSE世界国債インデックス（除く日本、ヘッジなし・円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営されている債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

配当込みTOPIX（「東証株価指数（TOPIX）（配当込み）」）といひます。）の指数値及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といひます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証株価指数（TOPIX）（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、東証株価指数（TOPIX）（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

MSCI指数は、MSCIが独占的に所有しています。MSCI及びMSCI指数は、MSCI及びその関係会社のサービスマークであり、野村アセットマネジメント株式会社は特定の目的のためにその使用を許諾されています。ここに記載されたいかなるファンドも、MSCI、MSCIの関連会社及びMSCI指数の作成または編集に関与あるいは関係したその他の当事者のいかなる者がその合法性および適合性に関して判断したものではありません。また、これを発行、後援、推奨、販売、運用または宣伝するものでもなく、ここに記載されたいかなるファンドに関していかなる保証も行わず、いかなる責任も負いません。請求目論見書には、MSCIが野村アセットマネジメント株式会社およびその関連するファンドと有する限定的な関係について、より詳細な記述があります。

東証REIT指数（配当込み）の指数値及び東証REIT指数（配当込み）に係る標章又は商標は、株式会社J P X総研又は株式会社J P X総研の関連会社（以下「J P X」といひます。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など東証REIT指数（配当込み）に関するすべての権利・ノウハウ及び東証REIT指数（配当込み）に係る標章又は商標に関するすべての権利はJ P Xが有します。J P Xは、東証REIT指数（配当込み）の指数値の算出又は公表の誤謬、遅延又は中断に対し、責任を負いません。本商品は、J P Xにより提供、保証又は販売されるものではなく、本商品の設定、販売及び販売促進活動に起因するいかなる損害に対してもJ P Xは責任を負いません。

S&P先進国REIT指数はスタンダード&プアーズファイナンシャルサービスズエルエルシーの所有する登録商標であり、野村アセットマネジメントに対して利用許諾が与えられています。スタンダード&プアーズは本商品を推奨・支持・販売・促進等するものではなく、また本商品に対する投資適格性等に関しいかなる意思表明等を行なうものではありません。

## &lt;当資料で使用した指数の著作権等について&gt;

●MSCI ACワールド・インデックスは、MSCIが開発した指数です。同指数に対する著作権、知的所有権その他一切の権利はMSCIに帰属します。またMSCIは、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。

●S&P500株価指数は、スタンダード&プアーズファイナンシャルサービスズエルエルシーの所有する登録商標です。

●日経平均株価とは、日本経済新聞社が発表している株価指標で、東京証券取引所プライム市場上場銘柄のうち市場を代表する225銘柄を対象に算出されます。わが国の株式市場全体の動向を示す指標の1つです。日経平均株価に関する著作権、知的所有権、その他一切の権利は日本経済新聞社に帰属します。日本経済新聞社は、日経平均株価の内容を変える権利および公表を停止する権利を有しています。

「野村世界6資産分散投信」

【投資リスク】

当ファンドは、＜安定コース＞ ＜分配コース＞ ＜成長コース＞ ＜配分変更コース＞ の4つのファンド（以下「各ファンド」という。）で構成されています。  
 各ファンドは、国内外の債券や株式、不動産投資信託（REIT）を実質的な投資対象としますので、ファンドに組み入れた債券・株式・REIT等の価格変動や金利・為替相場の変動、ファンドに組み入れた債券・株式・REIT等の発行者の信用状況等の変化により、基準価額が下落することがあります。  
 したがって、投資家の皆さまの投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失が生じることがあります。なお、投資信託は預貯金と異なります。  
 当ファンドの基準価額の変動要因としては、主に「株価変動リスク」や「REITの価格変動リスク」、「債券価格変動リスク」や「為替変動リスク」などがあります。  
 ※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「投資リスク」をご覧ください。

【当ファンドに係る費用】

(2024年8月現在)

項目	費用								
ご購入時手数料	ご購入のお申込み日の翌営業日の基準価額に1.65%（税抜1.5%）以内で販売会社が独自に定める率を乗じて得た額 *詳しくは販売会社にお問い合わせ、もしくは購入時手数料を記載した書面をご覧ください。								
運用管理費用 (信託報酬)	ファンドの保有期間中に、期間に応じてかかります。 <table border="1"> <tr> <td>安定コース</td> <td>純資産総額に年0.682%（税抜年0.62%）の率を乗じて得た額</td> </tr> <tr> <td>分配コース</td> <td>純資産総額に年0.759%（税抜年0.69%）の率を乗じて得た額</td> </tr> <tr> <td>成長コース</td> <td>純資産総額に年0.836%（税抜年0.76%）の率を乗じて得た額</td> </tr> <tr> <td>配分変更コース</td> <td>純資産総額に年1.045%（税抜年0.95%）の率を乗じて得た額</td> </tr> </table>	安定コース	純資産総額に年0.682%（税抜年0.62%）の率を乗じて得た額	分配コース	純資産総額に年0.759%（税抜年0.69%）の率を乗じて得た額	成長コース	純資産総額に年0.836%（税抜年0.76%）の率を乗じて得た額	配分変更コース	純資産総額に年1.045%（税抜年0.95%）の率を乗じて得た額
安定コース	純資産総額に年0.682%（税抜年0.62%）の率を乗じて得た額								
分配コース	純資産総額に年0.759%（税抜年0.69%）の率を乗じて得た額								
成長コース	純資産総額に年0.836%（税抜年0.76%）の率を乗じて得た額								
配分変更コース	純資産総額に年1.045%（税抜年0.95%）の率を乗じて得た額								
その他の費用・手数料	ファンドの保有期間中に、その都度かかります。（運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことができません。） <ul style="list-style-type: none"> <li>・組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料</li> <li>・外貨建資産の保管等に要する費用</li> <li>・有価証券の貸付に係る事務の処理に要する費用</li> <li>・監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用</li> <li>・ファンドに関する租税 等</li> </ul>								
ご換金時手数料	ありません。								
信託財産留保額 (ご換金時、スイッチングを含む)	ありません。								

上記の費用の合計額については、投資家の皆様ที่ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※詳しくは投資信託説明書（交付目論見書）の「ファンドの費用・税金」をご覧ください。

【お申込みメモ】

●信託期間	無期限 (安定コース/分配コース/成長コース:2005年10月3日設定) (配分変更コース:2015年9月28日設定) なお、各ファンドにつき、受益権口数が30億口を下回った場合は、償還となる場合があります。	●ご換金代金	原則、ご換金申込日から起算して5営業日目から販売会社でお支払いします。
●決算日および 収益分配	安定コース/分配コース/成長コース:年6回の毎決算時(原則、毎年1月、3月、5月、7月、9月および11月の10日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。 配分変更コース:年2回の毎決算時(原則、毎年1月および7月の10日(休業日の場合は翌営業日))に、分配の方針に基づき分配します。	●ご換金制限	1日1件10億円を超える換金には行えません。なお、別途換金制限を設ける場合があります。
●ご購入価額	ご購入申込日の翌営業日の基準価額	●スイッチング	安定コース/分配コース/成長コース/配分変更コースの間で、スイッチングができます。 スイッチングの方法等は、購入、換金の場合と同様です。 また、スイッチングの際には、換金時と同様の費用・税金がかかりますのでご注意ください。
●ご購入単位	販売会社が定める単位	●課税関係	個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時(スイッチングを含む)および償還時の譲渡益に対して課税されます。ただし、NISA(少額投資非課税制度)の適用対象ファンドにおいてNISAを利用した場合には課税されません。 ファンドはNISAの「成長投資枠」の対象ですが、販売会社により取扱いが異なる場合があります。 なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。詳しくは販売会社にお問い合わせください。
●ご換金価額	ご換金申込日の翌営業日の基準価額		

※お申込みの際には投資信託説明書（交付目論見書）をご確認ください。

お申込みは



(登録金融機関(販売取扱会社))  
**株式会社ゆうちょ銀行**  
 関東財務局長(登金)第611号  
 (加入協会)  
 日本証券業協会



(金融商品仲介業者)  
**日本郵便株式会社**  
 関東財務局長(金仲)第325号

設定・運用は



商号: **野村アセットマネジメント株式会社**  
 金融商品取引業者  
 関東財務局長(金商)第373号  
 加入協会:一般社団法人投資信託協会/  
 一般社団法人日本投資顧問業協会/  
 一般社団法人第二種金融商品取引業協会

ファンドの基準価額等についてのお問い合わせ先: **野村アセットマネジメント株式会社**

●サポートダイヤル ☎ 0120-753104 <受付時間> 営業日の午前9時~午後5時

●ホームページ

<https://www.nomura-am.co.jp/>



【当資料について】

- 当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的として野村アセットマネジメントが作成したものです。
- 当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。
- 当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

【お申込みに際してのご留意事項】

- ファンドは、元金が保証されているものではありません。
- ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。
- 投資信託は金融機関の預金と異なり、元本は保証されていません。
- 投資信託は預金保険の対象ではありません。また、登録金融機関が取り扱う投資信託は、投資者保護基金制度が適用されません。
- お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

【投資信託に関する注意事項】

- **投資信託は、預金・貯金ではありません。また、投資信託は、元本および利回りの保証がない商品です。**
- 当資料は金融商品取引法に基づく開示書類ではありません。
- 投資信託の申し込みにあたっては、リスクや手数料等を含む商品内容が記載された重要情報シートならびに投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。
- ゆうちょ銀行各店または投資信託取扱局の窓口での申し込みに際しては、重要情報シートならびに投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面を、書面交付または電子交付しております。インターネットでの申し込みに際しては、投資信託説明書（交付目論見書）および一体となっている目論見書補完書面を電子交付しております。
- 日本郵便株式会社は、株式会社ゆうちょ銀行から委託を受けて、投資信託の申し込みの媒介（金融商品仲介行為）を行います。日本郵便株式会社は金融商品仲介行為に関して、株式会社ゆうちょ銀行の代理権を有していないとともに、お客さまから金銭もしくは有価証券をお預かりしません。